

弥 監 発 第 1 0 号  
平成 2 5 年 8 月 2 9 日

弥彦村長 大 谷 良 孝 様

弥彦村監査委員 本 多 克  
同 武 石 雅 之

平成 2 4 年度弥彦村一般会計・弥彦村国民健康保険特別会計・弥彦村  
後期高齢者医療特別会計・弥彦村介護保険特別会計・弥彦村競輪事業  
特別会計・弥彦村温泉事業特別会計 決算審査意見書

地方自治法第 2 3 3 条第 2 項の規定に基づき、標題の決算を審査したので、  
その意見を別紙のとおり提出する。

# 平成24年度 弥彦村一般会計及び特別会計歳入歳出決算審査意見書

## 第1. 審査の概要

### 1. 審査の対象

- (1) 平成24年度 弥彦村一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成24年度 弥彦村国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成24年度 弥彦村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成24年度 弥彦村介護保険特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成24年度 弥彦村競輪事業特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成24年度 弥彦村温泉事業特別会計歳入歳出決算

### 2. 審査の期間

平成25年8月1日・2日の2日間

### 3. 審査の場所

弥彦村役場 委員会室

### 4. 審査の手続

村長から送付された、一般会計他5特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び各基金の運用状況を示す書類について、法令の規定に従って作成されているかどうかを確認し、これに記載された計数について、各種関係帳票類及び証書類と照合、あるいは内容の検討を行い、併せて各課で作成された決算審査資料に基づき、関係職員の説明を聴取して、計数の正確性並びに予算の執行、管理の適正について、慎重に審査を実施した。

## 第2. 審査の結果

### (1) 決算

審査に付された一般会計他5特別会計歳入歳出決算書、付属書類、各基金運用状況に関する調書等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、計数は関係諸帳簿と符合して正確であり、出納諸帳簿と歳入歳出差引額は、各金融機関の残高証明書との額（現金は、例月出納検査で確認済み）とそれぞれ符合したので、決算計数は違算ないものと確認し、適正なる決算であることを確認した。

### (2) 財産

財産に関する調書については、公有財産、債権、基金等、各調書の計数は誤りのないことを確認した。

### 第3. 審査の個別意見

各会計ごとの審査概要と意見については、次のとおりである。

#### 1. 平成24年度 一般会計の概要

一般会計の決算額は、収入総額が38億4,808万418円(対前年度比1.28%減)、支出総額が36億5,617万7,957円(対前年度比1.52%増)となった。

震災復興特別交付金増による特別交付税、前年度繰越金などが増となったが、村税、国庫支出金、県支出金、村債などが減となり、歳入においては、前年度を下回る決算となった。歳出においては、燕・弥彦事務組合負担金、弥彦公園整備工事費等の増により前年を上回っている。

今後も自主財源の確保を図りながら、歳出全般にわたり人件費、物件費などの経常経費の抑制に努め、更なる効率的・効果的・計画的な執行に努められたい。

(単位：円)

区 分	平成24年度	平成23年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	3,848,080,418	3,897,830,144	△ 49,749,726	△ 1.28
支 出 総 額	3,656,177,957	3,601,429,193	54,748,764	1.52
翌年度への繰越 (形式収支額)	191,902,461	296,400,951	△ 104,498,490	△ 35.26

#### (1) 実質収支について

実質収支額は1億8,388万2,461円の黒字で、前年度に比べて7,165万8,490円(28.04%)の減額である。

(単位：円)

区 分	平成24年度	平成23年度	比 較		
			増 減 額	増減率%	
形 式 的 収 支 額	191,902,461	296,400,951	△ 104,498,490	△ 35.26	
翌年度へ繰越すべき財源	継続費逡次繰越	-	-	-	
	繰越明許費	8,020,000	40,860,000	△ 32,840,000	△ 80.37
	事故繰越額	-	-	-	-
	計	8,020,000	40,860,000	△ 32,840,000	△ 80.37
実 質 収 支 額	183,882,461	255,540,951	△ 71,658,490	△ 28.04	

#### (2) 決算指数について

##### (ア) 実質単年度収支額

実質収支額の1億8,388万2,461円に、財政調整基金他積立金1,090万5,000円を加え、前年度実質収支額2億5,554万951円、基金取崩額636万4,000円を差し引いた実質単年度収支額は6,711万7,490円の赤字となった。増額した繰越金を財源として歳出が増額となったことが主な要因である。

実質単年度収支額の推移

(単位:円)

区分	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
実質収支額	183,882,461	255,540,951	246,825,165	216,902,571	119,287,283
前年度実質収支額	255,540,951	246,825,165	216,902,571	119,287,283	117,913,396
単年度収支	△ 71,658,490	8,715,786	29,922,594	97,615,288	1,373,887
基金積立額	10,905,000	2,585,000	10,880,000	73,781,000	3,776,000
基金取崩額	6,364,000	12,000,000	33,000,000	2,000,000	23,431,000
繰上償還金	0	0	0	0	13,931,242
実質単年度収支額	△ 67,117,490	△ 699,214	7,802,594	169,396,288	△ 4,349,871

(イ) 決算指数

実質収支比率は7.3%となり、昨年度、一昨年度より適正指数(3~5%)に近づいた。経常収支比率は2.2ポイントの減少となったが、財政の硬直化を示す指数となるので、今後も減少に向けた予算執行に努められたい。公債費比率、起債制限比率、公債費負担比率はいずれも前年度を上回っているが適正指数内であった。実質公債費比率については前年度を下回り15.7%となっており、引続き18%を超える起債許可団体から脱却している。財政力指数は平成19年度をピークに年々数値が下がっている。分母となる基準財政需要額の数値にも左右されるが、平成24年度は村税の減少が大きな要因である。

今後も更なる経常的経費の節減と経常一般財源の確保に努め、健全な財政運営を切に望むものである。

一般会計決算指数の推移 (決算統計資料)

区分	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
標準財政規模	2,510,526千円	2,562,009千円	2,589,527千円	2,512,589千円	2,427,354千円
実質収支比率	7.3%	10.0%	9.5%	8.6%	4.9%
経常収支比率	82.0%	84.2%	82.6%	83.3%	81.0%
公債費比率	7.2%	6.8%	7.4%	8.1%	9.2%
起債制限比率	5.6%	5.2%	6.7%	7.1%	7.5%
公債費負担比率	10.5%	10.0%	10.4%	9.9%	11.9%
実質公債費比率	15.7%	16.2%	17.6%	18.4%	18.9%
将来負担比率	137.6%	130.3%	124.1%	127.2%	144.5%
財政力指数	0.406	0.415	0.438	0.459	0.468
地方債現在高	3,028,197千円	3,045,756千円	3,000,345千円	2,911,710千円	2,949,140千円
財調基金残高	400,300千円	400,200千円	400,100千円	400,000千円	330,100千円
財調基金比率	15.9%	15.6%	15.5%	15.9%	13.6%

※財政力指数＝単年度

(3) 歳入

(ア) 歳入決算の状況

収入済額は、前年度に比べ4,974万9,726円の減額となっており、調定額に対する割合は、96.78%で前年度に比べ0.06ポイント下回っている。

歳入決算の状況 (単位:円)

区分	平成24年度	平成23年度	比較	
			増減額	増減率%
予算現額	3,916,003,000	3,909,455,000	6,548,000	0.17
調定額	3,976,159,451	4,024,944,804	△48,785,353	△1.21
収入済額	3,848,080,418	3,897,830,144	△49,749,726	△1.28
不納欠損額	29,419,740	4,665,277	24,754,463	530.61
収入未済額	98,659,293	122,449,383	△23,790,090	△19.43
予算現額と収入済額との比較	△67,922,582	△11,624,856	△56,297,726	484.29
収入済額の予算現額に対する割合	98.27%	99.70%		△1.43
収入済額の調定額に対する割合	96.78%	96.84%		△0.06

(イ) 財源別歳入決算の状況

歳入を財源別に見ると、依存財源は、村債を含め22億3,838万2,375円で、歳入決算額の58.17%を占め、自主調達財源は16億969万8,043円で41.83%である。依存財源が前年度より1.80ポイント減少しているが、地方交付税が増額となっているものの国庫支出金、県支出金、村債等の減少がその主な要因である。

自主財源と依存財源別決算状況 (単位:円)

区分	平成24年度		平成23年度		比較	
	決算額	構成比%	決算額	構成比%	増減額	増減率%
<b>自主財源</b>						
村税	952,073,139	24.74	986,247,573	25.30	△34,174,434	△3.47
分担金負担金	78,101,700	2.03	70,796,400	1.82	7,305,300	10.32
使用料手数料	24,122,491	0.63	25,717,483	0.66	△1,594,992	△6.20
財産収入	13,671,376	0.36	10,675,762	0.27	2,995,614	28.06
寄付金	7,511,275	0.19	7,200,773	0.19	310,502	4.31
繰入金	14,364,000	0.37	20,000,000	0.51	△5,636,000	△28.18
繰越金	296,400,951	7.70	248,294,165	6.37	48,106,786	19.37
諸収入	223,453,111	5.81	249,374,939	6.40	△25,921,828	△10.39
計	1,609,698,043	41.83	1,618,307,095	41.52	△8,609,052	△0.53
<b>依存財源</b>						
地方譲与税	57,448,078	1.49	61,619,075	1.58	△4,170,997	△6.77
利子割交付金	2,346,000	0.06	2,903,000	0.07	△557,000	△19.19
配当割交付金	1,400,000	0.04	1,252,000	0.03	148,000	11.82
株所得交付金	343,000	0.01	304,000	0.01	39,000	12.83
地方消費税	78,022,000	2.03	77,907,000	2.00	115,000	0.15
自動車取得税	15,764,000	0.41	13,290,000	0.34	2,474,000	18.62
地方特例交付金	4,902,000	0.13	14,287,000	0.37	△9,385,000	△65.69
地方交付税	1,373,913,000	35.70	1,315,343,000	33.74	58,570,000	4.45
交通安全交付金	967,000	0.03	1,072,000	0.03	△105,000	△9.79
国庫支出金	242,600,699	6.30	262,304,915	6.73	△19,704,216	△7.51
県支出金	175,576,598	4.56	185,941,059	4.77	△10,364,461	△5.57
計	1,953,282,375	50.76	1,936,223,049	49.67	17,059,326	0.88
村債	285,100,000	7.41	343,300,000	8.81	△58,200,000	△16.95
小計	2,238,382,375	58.17	2,279,523,049	58.48	△41,140,674	△1.80
合計	3,848,080,418	100.00	3,897,830,144	100.00	△49,749,726	△1.28

(ウ) 収入未済額の状況

収入未済額は、前年度に比べ2,379万90円（対前年度比19.43%）減少し、9,865万9,293円となっているが、滞納繰越分固定資産税の不能欠損処分による減少が主な要因である。厳しい経済状況下であるが、今後も地方税徴収機構と連携及び活用しながら、更なる滞納金の徴収を望むものである。尚、児童福祉費負担金（保育料）については、受益者負担金であるので、早期の回収に向け努力願いたい。

収入未済額 (単位：円)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
村 民 税	5,398,897	6,511,985	△ 1,113,088	△ 17.09
固 定 資 産 税	87,358,836	113,129,258	△ 25,770,422	△ 22.78
軽 自 動 車 税	547,300	528,100	19,200	3.64
入 湯 税	4,229,660	1,438,240	2,791,420	194.09
児 童 福 祉 費 負 担 金	1,124,600	841,800	282,800	33.59
合 計	98,659,293	122,449,383	△ 23,790,090	△ 19.43

(エ) 不納欠損額の状況

不納欠損額の状況は、前年度に比べ2,475万4,463円（対前年度比530.61%）増加し、2,941万9,740円となっている。固定資産税の不納欠損額については、事業の廃業に伴い地方税法第15条の7第5項の規定により即時消滅としたものであり、その他についても地方税法の規定に該当するもので、やむを得ないものと思われる。

不納欠損額 (単位：円)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
村 民 税	751,125	119,177	631,948	530.26
固 定 資 産 税	28,607,435	4,468,800	24,138,635	540.16
軽 自 動 車 税	42,400	55,400	△ 13,000	△ 23.47
入 湯 税	18,780	0	18,780	皆増
児 童 福 祉 費 負 担 金	0	21,900	△ 21,900	皆減
合 計	29,419,740	4,665,277	24,754,463	530.61

(4) 歳 出

(ア) 歳出決算の状況

歳出決算の状況では、支出済額は、前年度に比べ5,474万8,764円（対前年度比1.52%）増の36億5,617万7,957円となった。支出済額の予算現額に対する割合は、93.37%となり、前年度に比較して1.25ポイント増加したが、不用額が前年度より7,214万2,764円減の1億7,900万5,043円となったためである。不用額、予備費とも前年度より減額となっているが、剰余金を基金積立などに計上することも考慮されたい。

歳 出 決 算 の 状 況

(単位：円)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	3,916,003,000	3,909,455,000	6,548,000	0.17
支 出 済 額	3,656,177,957	3,601,429,193	54,748,764	1.52
翌 年 度 繰 越				
継 続 費 通 次 繰 越 額	-	-	-	-
繰 越 明 許 費 繰 越 額	80,820,000	56,878,000	23,942,000	42.09
事 故 繰 越 繰 越 額	-	-	-	-
計	80,820,000	56,878,000	23,942,000	42.09
不 用 額 (うち、予備費)	179,005,043 (134,475,790)	251,147,807 (224,786,000)	△ 72,142,764 (△ 90,310,210)	△ 28.73 (△ 40.18)
予算現額と支出済額との比較	259,825,043	308,025,807	△ 48,200,764	△ 15.65
支出済額の予算現額に対する割合	93.37%	92.12%		1.25

(イ) 目的別歳出の状況

歳出の目的別決算では、議会費・総務費・民生費・土木費で前年度より7,277万9,842円の減額となったものの、衛生費・労働費・農林水産業費・商工費・消防費・教育費・災害復旧費・公債費・諸支出金で1億2,752万8,606円の増額となり、総額では5,474万8,764円の増額となっている。

目 的 別 歳 出 の 状 況

(単位：円)

区 分	平成 24 年度		平成 23 年度		比 較	
	決 算 額	構成比%	決 算 額	構成比%	増 減 額	増減率%
議 会 費	70,503,262	1.93	77,966,009	2.17	△ 7,462,747	△ 9.57
総 務 費	331,344,156	9.06	348,478,218	9.68	△ 17,134,062	△ 4.92
民 生 費	919,132,721	25.14	940,136,511	26.10	△ 21,003,790	△ 2.23
衛 生 費	319,913,696	8.75	254,345,901	7.06	65,567,795	25.78
労 働 費	28,326,000	0.77	24,152,000	0.67	4,174,000	17.28
農 林 水 産 業 費	167,180,720	4.57	132,339,486	3.67	34,841,234	26.33
商 工 費	210,981,082	5.77	209,838,936	5.83	1,142,146	0.54
土 木 費	669,301,032	18.31	696,480,275	19.34	△ 27,179,243	△ 3.90
消 防 費	231,431,615	6.33	229,352,418	6.37	2,079,197	0.91
教 育 費	354,612,219	9.70	344,067,126	9.55	10,545,093	3.06
災 害 復 旧 費	335,000	0.01	0	0.00	335,000	皆増
公 債 費	342,211,454	9.36	341,687,313	9.49	524,141	0.15
諸 支 出 金	10,905,000	0.30	2,585,000	0.07	8,320,000	321.86
合 計	3,656,177,957	100.00	3,601,429,193	100.00	54,748,764	1.52

## 2. 平成24年度国民健康保険特別会計の概要

国保会計の決算額は、歳入8億6,653万6,357円、歳出8億3,479万8,628円で歳入歳出差引額は、3,173万7,729円となっており、前年度実質収支額などを控除した実質単年度収支額は、2,558万5,098円の赤字で、前年度より4,808万3,956円の減額となっている。

(単位：円)

区 分	平成24年度	平成23年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	866,536,357	889,002,183	△ 22,465,826	△ 2.53
支 出 総 額	834,798,628	831,479,356	3,319,272	0.40
実 質 収 支 額	31,737,729	57,522,827	△ 25,785,098	△ 44.83
前年度実質収支額	57,522,827	15,223,969	42,298,858	277.84
基 金 取 崩 額	15,000,000	40,000,000	△ 25,000,000	△ 62.50
基 金 積 立 金	15,200,000	20,200,000	△ 5,000,000	△ 24.75
実質単年度収支額	△ 25,585,098	22,498,858	△ 48,083,956	△ 213.72

### (1) 歳入決算の状況

歳入のうち国民健康保険税は、前年度より375万5,000円減の、1億8,008万7,500円の収入済額となっている。厳しい経済状況下において、徴収策として短期保険証、資格者証交付等を利用して徴収に努めており、収入未済額は減額となっているが、今後も繰り越される未収金についての徴収に努力されたい。また、不納欠損額については、前年度より39万1,300円減の146万4,100円となっているが、この不納欠損額については、地方税法の規定に該当するもので、やむを得ないものと思われる。

### 歳 入 決 算 の 状 況

(単位：円)

区 分	平成24年度	平成23年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	864,506,000	888,227,000	△ 23,721,000	△ 2.67
調 定 額	883,240,057	906,530,083	△ 23,290,026	△ 2.57
収 入 済 額	866,536,357	889,002,183	△ 22,465,826	△ 2.53
不 納 欠 損 額	1,464,100	1,072,800	391,300	36.47
収 入 未 済 額	15,239,600	16,455,100	△ 1,215,500	△ 7.39
予算現額と収入済額との比較	2,030,357	775,183	1,255,174	161.92
収入済額の予算現額に対する割合	100.23%	100.09%		0.14
収入済額の調定額に対する割合	98.11%	98.07%		0.04

### (2) 歳出決算の状況

医療費の現状については、きめ細かな地域保健活動の実施をしており、平成24年度の保険給付費は前年度対比2,123万4,675円減となっている。特定健診、特定保健指導の実施により、更なる受診率の向上を目指し、医療費の抑制、適正化に努められたい。

### 歳 出 決 算 の 状 況

(単位：円)

区 分	平成24年度	平成23年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	864,506,000	888,227,000	△ 23,721,000	△ 2.67
支 出 済 額	834,798,628	831,479,356	3,319,272	0.40
不 用 額	29,707,372	56,747,644	△ 27,040,272	△ 47.65
(うち、予備費)	(29,495,960)	(55,750,000)	(△ 26,254,040)	(△ 47.09)
支出済額の予算現額に対する割合	96.56%	93.61%		2.95



### 3. 平成24年度後期高齢者医療特別会計の概要

平成20年度より創設された後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入6,036万1,408円、歳出5,974万293円で歳入歳出差引額は、62万1,115円となっている。

(単位:円)

区 分	平成24年度	平成23年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	60,361,408	60,687,638	△ 326,230	△ 0.54
支 出 総 額	59,740,293	58,933,530	806,763	1.37
翌年度繰越金	-	-	-	-
実 質 収 支 額	621,115	1,754,108	△ 1,132,993	△ 64.59

#### (1) 歳入決算の状況

歳入のうち保険料は、前年度より26万4,900円増の、3,920万2,800円であるが、収入未済額が18万2,900円発生している。新たな滞納者を出さないよう努められたい。

#### 歳 入 決 算 の 状 況

(単位:円)

区 分	平成24年度	平成23年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	60,222,000	60,541,000	△ 319,000	△ 0.53
調 定 額	60,544,308	60,754,038	△ 209,730	△ 0.35
収 入 済 額	60,361,408	60,687,638	△ 326,230	△ 0.54
不 納 欠 損 額	0	0	0	-
収 入 未 済 額	182,900	66,400	116,500	175.45
予算現額と収入済額との比較	139,408	146,638	△ 7,230	△ 4.93
収入済額の予算現額に対する割合	100.23%	100.24%		△ 0.01
収入済額の調定額に対する割合	99.70%	99.89%		△ 0.19

#### (2) 歳出決算の状況

歳出については、前年度より80万6,763円増の5,974万293円となっている。広域連合と連携の上、的確な運用に努められたい。

#### 歳 出 決 算 の 状 況

(単位:円)

区 分	平成24年度	平成23年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	60,222,000	60,541,000	△ 319,000	△ 0.53
支 出 済 額	59,740,293	58,933,530	806,763	1.37
不 用 額	481,707	1,607,470	△ 1,125,763	△ 70.03
(うち、予備費)	(445,000)	(1,600,000)	(△ 1,155,000)	(△ 72.19)
支出済額の予算現額に対する割合	99.20%	97.34%		1.86

#### 4. 平成24年度介護保険特別会計の概要

介護保険会計の決算額は、歳入7億6,850万8,100円、歳出7億5,376万369円で歳入歳出差引額は、1,474万7,731円となっており、前年度より947万4,829円の増額となっている。

(単位：円)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	768,508,100	757,256,026	11,252,074	1.49
支 出 総 額	753,760,369	751,983,124	1,777,245	0.24
翌 年 度 繰 越 金	-	-	-	-
実 質 収 支 額	14,747,731	5,272,902	9,474,829	179.69

##### (1) 歳入決算の状況

歳入のうち介護保険料は、前年度より3,060万4,800円増の、1億5,771万1,300円の収入済額となっている。収入未済額は微減の105万9,300円となっているが、今後も繰越される未収金については、厳しい経済状況下ではあるが収納確保に万全を期されたい。また、不納欠損額については、前年度より減の8万7,900円であるが、介護保険法の規定に該当するもので、やむを得ないものと思われる。

##### 歳 入 決 算 の 状 況

(単位：円)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	768,241,000	757,147,000	11,094,000	1.47
調 定 額	769,655,300	758,449,726	11,205,574	1.48
収 入 済 額	768,508,100	757,256,026	11,252,074	1.49
不 納 欠 損 額	87,900	130,600	△ 42,700	△ 32.70
収 入 未 済 額	1,059,300	1,063,100	△ 3,800	△ 0.36
予算現額と収入済額との比較	267,100	109,026	158,074	144.99
収入済額の予算現額に対する割合	100.03%	100.01%		0.02
収入済額の調定額に対する割合	99.85%	99.84%		0.01

##### (2) 歳出決算の状況

歳出については、保険給付費が昨年度より90万6,610円増の7億1,381万7,211円となっている。平成24年度から始まった第5期事業計画に基づき、地域包括支援センターと共に介護予防事業を推進し、給付費の抑制に努められたい。

##### 歳 出 決 算 の 状 況

(単位：円)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	768,241,000	757,147,000	11,094,000	1.47
支 出 済 額	753,760,369	751,983,124	1,777,245	0.24
不 用 額 (うち、予備費)	14,480,631 (14,416,000)	5,163,876 (5,085,000)	9,316,755 (9,331,000)	180.42 (183.50)
支出済額の予算現額に対する割合	98.12%	99.32%		△ 1.20

## 5. 平成24年度競輪事業特別会計の概要

競輪事業会計の決算額は、歳入152億9,005万3,567円、歳出152億8,347万9,748円で、実質収支額は657万3,819円となっている。これに前年度実質収支額998万3,859円と基金取崩額3,650万円を控除し、基金積立金160万円を加算した実質単年度収支額は、3,831万40円の赤字となっている。

(単位:円)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	15,290,053,567	15,074,792,762	215,260,805	1.43
支 出 総 額	15,283,479,748	15,055,568,903	227,910,845	1.51
繰越明許費繰越額	0	9,240,000	△ 9,240,000	皆減
実 質 収 支 額	6,573,819	9,983,859	△ 3,410,040	△ 34.16
基 金 積 立 金	1,600,000	8,500,000	△ 6,900,000	△ 81.18
前年度実質収支額	9,983,859	5,860,947	4,122,912	70.35
基 金 取 崩 額	36,500,000	0	36,500,000	皆増
一 般 会 計 繰 出 金	0	0	0	0.00
実質単年度収支額	△ 38,310,040	12,622,912	△ 50,932,952	△ 403.50

### (1) 歳入決算の状況

車券発売収入は、前年度より3億5,641万4,700円増の、149億7,669万4,100円となった。これは、普通競輪の開催が昨年度より6日間多くなったことが主な要因であるが、寛仁親王牌競輪での車券売上収入も昨年度を若干上回る103億1,340万5,700円であった。一方、場外開催の売上は減少し、財政基金から3,650万円を繰入れる要因となった。

### 歳 入 決 算 の 状 況

(単位:円)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	15,289,552,000	15,074,152,000	215,400,000	1.43
収 入 済 額	15,290,053,567	15,074,792,762	215,260,805	1.43
予算現額と収入済額との比較	501,567	640,762	△ 139,195	△ 21.72
収入済額の予算現額に対する割合	100.00%	100.00%		△ 0.00

### (2) 歳出決算の状況

ファンの高齢化や経済状況が影響していると思われるが、車券販売収入の減少等により、単年度収支は赤字となった。新規ファン層の獲得や競輪の商品価値を高めるような事業展開を期待するものである。また、平成26年度も寛仁親王牌の開催が決定したことは明るい材料であるが、特別競輪の事業経費は高額となるため、一層の経費の節減に努め、収益を確保されたい。

### 歳 出 決 算 の 状 況

(単位:円)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	15,289,552,000	15,074,152,000	215,400,000	1.43
支 出 済 額	15,283,479,748	15,055,568,903	227,910,845	1.51
翌 年 度 繰 越 額	0	9,240,000	△ 9,240,000	皆減
不 用 額	6,072,252	9,343,097	△ 3,270,845	△ 35.01
(うち、予備費)	(2,586,000)	(4,192,000)	(△ 1,606,000)	(△ 38.31)
支出済額の予算現額に対する割合	99.96%	99.88%		0.08

## 6. 平成24年度温泉事業特別会計の概要

温泉事業会計の決算額は、歳入2,554万6,039円、歳出2,279万1,926円で歳入歳出差引額は、275万4,113円となっており、前年度実質収支額を控除し、基金積立額を加算した実質単年度収支額は、64万7,618円の黒字となっている。前年度繰越金や基金積立金の増により、歳入歳出とも前年度より増額となっている。

(単位:円)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
収 入 総 額	25,546,039	25,061,085	484,954	1.94
支 出 総 額	22,791,926	22,454,590	337,336	1.50
実 質 収 支 額	2,754,113	2,606,495	147,618	5.66
基 金 積 立 金	500,000	100,000	400,000	400.00
前 年 度 実 質 収 支 額	2,606,495	1,728,531	877,964	50.79
基 金 取 崩 額	0	0	0	0.00
実 質 単 年 度 収 支 額	647,618	977,964	△ 330,346	△ 33.78

### (1) 歳入決算の状況

歳入のうち、温泉使用料は桜井郷温泉、湯神社温泉とも微減しており、前年度より39万3,010円減の2,293万9,544円となっている。収入未済額が前年度より減少し216万4,742円となっているが、今後も繰越される未収金については、収納確保に万全を期されたい。なお、不能欠損額40万2,192円は事業廃業による破産整理が終了したことに伴うもので、やむを得ないものと思われる。

### 歳 入 決 算 の 状 況

(単位:円)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	25,583,000	25,058,000	525,000	2.10
調 定 額	28,112,973	27,634,303	478,670	1.73
収 入 済 額	25,546,039	25,061,085	484,954	1.94
不 納 欠 損 額	402,192	0	402,192	皆増
収 入 未 済 額	2,164,742	2,573,218	△ 408,476	△ 15.87
予算現額と収入済額との比較	△ 36,961	3,085	△ 40,046	△ 1,298.09
収入済額の予算現額に対する割合	99.86%	100.01%		△ 0.15
収入済額の調定額に対する割合	90.87%	90.69%		0.18

### (2) 歳出決算の状況

一般会計に前年度と同額の800万円の繰出しを行い、健全財政を維持しているが、今後施設の維持修繕費などが増えてくると思われるので、引き続き経常経費の抑制に努められたい。

### 歳 出 決 算 の 状 況

(単位:円)

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
予 算 現 額	25,583,000	25,058,000	525,000	2.10
支 出 済 額	22,791,926	22,454,590	337,336	1.50
不 用 額	2,791,074	2,603,410	187,664	7.21
(うち、予備費)	(2,690,689)	(2,577,000)	(113,689)	(4.41)
支出済額の予算現額に対する割合	89.09%	89.61%		△ 0.52

#### 第4. 財産管理状況

土地については、行政財産において、駐車場用地の売却などで差引124.73㎡の減、普通財産において、やひこ桜井郷温泉民活関連事業用地取得と売却及びほ場整備に伴う村有地編入などで差引594.10㎡の減、建物については、行政財産において、弥彦体育館取壊しと防災機能付き多目的施設の建設により差引1,300㎡の減となっている。今後も引き続きやひこ桜井郷温泉民活関連事業用地の売却や、売却可能な遊休地を売却するなどの確な財産管理に努められたい。

#### 第5. 基金の運用状況について

本年度中における基金の増減については、減額となった基金は、全国選抜招待高校駅伝弥彦大会基金、競輪財政基金の2基金で、増額となった基金は財政調整基金など7基金となり、差引き合計で2,964万9,000円減の13億9,743万4,000円となった。

#### 注 記

1. 比率(%)は、小数点以下第2位、または、第3位を四捨五入した。
2. 構成比率(%)は、合計が100となるよう一部調整した。
3. 「-」は、該当数値のないものである。